

- 大阪市は、森林を保有していないことから、大消費地として木材利用の拡大や普及啓発活動をとおして、森林整備の促進を間接的に支援してまいります。
- 令和2年度においては、保育園や小中学校など次世代を担う世代が木材に触れ合うことを目的に、木製品による保育園の備品の整備、小中学校の椅子や机の整備を実施しました。
- 令和元年度は、間伐材等を利用した木工細工体験教室を実施し、椅子などを製作して区役所内で活用する他、身近な自然での森林環境教育につながるイベントを開催しました。（令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大のため中止）

□ 事業内容

公立保育所等木製製品の整備促進事業

- 公立保育所において児童が使用する遊具・玩具・家具等について、国産木材を使用した製品を整備した。

【事業費】 26,865千円（うち譲与税額26,865千円）

- 【実績】 家具類（ロッカー、棚、パーテーション）（大淀・松之宮保育所）
 玩具（積み木、ままごと用品、乳児用玩具等）（市内公立保育所60箇所）
 棚（市内公立保育所60箇所）



□ 事業スキーム

一般競争入札

□ 工夫・留意した点

- これまで購入機会がなく、保育所からの要望が多い製品について買い入れを行った。
- 木製製品の角の面取り寸法や用いる塗料等を児童の安全に配慮した仕様内容とした。

□ 基礎データ

①令和2年度譲与額	232,924千円
②私有林人工林面積（※1）	0.00ha
③林野率（※2）	0.00%
④人口（※3）	2,691,185人
⑤林業就業者数（※4）	62人

※1：「森林資源現況調査（林野庁、H29.3.31現在）」より、

※2：「2015農林業センサス」より、※3、4：「H27年国勢調査」より